学校だより No.８
令和2年9月30日(水)発行
須坂市立東中学校
文責：嶋田 和美（教頭）
http://www.azuma-school.ed.jp/

令和２年度　東祭　第 43 回東祭の様子から

9 月 25 日（金）・26 日（土）の二日間、「第 43 回 東祭」が行われました。コロナ禍で、見通しがもてない状況でしたが、生徒会役員を中心に準備を進めてきました。

感染症対策を講じながらも、今年度の東祭テーマ「３色で一つの花となれ」のもと、充実した、そして感動的な東祭となりました。

本年度は、原則非公開とし、保護者、地域の皆様の来校をご遠慮いただきました。大変失礼いたしました。後日、Goolight（須高ケーブルテレビ）にて、放映されますので、生徒の活躍をご視聴いただけたらと思います。

開祭式～学校長挨拶

本来なら、多くの保護者・地域の皆さんを招待して、コロナ禍を乗り越えて輝く皆さんの姿を公開したいところでしたが、苦渋の決断で原則非公開としました。大変残念です。しかし、そのような状況の中、土屋保男教育委員様、堂原ＰＴＡ会長様をはじめとする三役の皆様におかれましては、ご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。どうかお時間の許す限り生徒達の輝く姿をご覧ください。

いよいよ第 43 回東祭の幕開けです。今日を迎えるまでの間、本部会役員の皆さんをはじめとして、本当に苦労の連続だったと思います。感染予防を最優先に考えなければならず、プラン変更の連続でした。準備段階でも、例年のような高まる熱い思いを大きな声で発散することもできず、手探りでようやく今日を迎えたところです。

さて、今年度の東祭のテーマは「３色で一つの花となれ」です。青は１学年、赤は２学年、緑が３学年。コロナ禍にあっても、全校が一つになって、団結の証として花を咲かせたいという願いが込められたものと理解しています。とっても、いいテーマですね。

そこで、皆さんに問いかけたいと思います。あなたは、「一つの花」をどんなイメージで思い描いていますか？一輪の花ですか？それともいくつもの枝にたくさんの花を咲かせているイメージですか？どんな色、どんな形の花ですか？

人それぞれだと思いますが、ここからは、私のイメージです。

２・３年生は既に学習したはずですが、青・赤・緑の３色は、光の三原色と言います。３色を混ぜ合わせると白になり、それぞれの原色の強さを変えて混ぜ合わせることで、ほぼすべての色を再現することができます。

私は、入学式の折り、全校の皆さんに、「一人一人が、自分らしさという異なる色の命の光を持った存在です。しかし、たった一人ではその光を放つことはできません。自分らしさという光を輝かせるためには、他者の存在が必要なのです。」という話をしました。

ですから、私にとって「一つの花」のイメージは、３色が混ざり合って咲いた 143 の白い花が、一つ一つ異なる色の花に変化しながら互いに照らし合い輝いている様子です。

今日までに咲いた 143 の白い花が、今日と明日で、互いに照らし合いながら、どんな色に変化し輝くのか、楽しませてもらいたいと思います。

終わります。

開祭式～生徒会長挨拶

おはようございます。

皆さん、待ちに待った東祭がこれから始まろうとしています。今、皆さんの心の中ではどんな東祭が広がっていますか。

当たり前のように、いつもどおりに開催できると思っていた東祭が、新型コロナウイルスの影響で、開催そのものも危ぶまれた中、全校の皆さんの「東祭を開催したい」という思いは、学年の壁を越えた東ミーティングで様々なアイデアを生み出しました。そして先輩方が創ってきた伝統を守りながら、僕たち

自身の力と知恵で新しい東祭を創り出す事ができました。これは東中学生としてとても誇らしい事だと思います。

100 日前から準備をはじめ、少しずつ東祭が身近に感じられていく中、去年や一昨年に比べてみんなの熱意がまだ足りないのではないか、マスクをしているから声がでないのだろうか、どうしたらもっともっと全校で盛り上がれるだろうか、と不安に思う日々が実は僕にはありました。しかし 30 日前の個人行動目標発表で、生徒全員が、発言するために手を挙げた姿を見た時、僕は全校生徒が東祭にむかって一丸となったと感じ、本当に心から嬉しく思いました。そして先日のテーマソング練習で、マスクをしていても、生き生きと楽しそうに大きな声で歌う姿をみることができ、絶対に成功できると確信しました。東祭テーマ「３色で一つの花となれ」は、学年をこえ、チーム・全校で協力しあえることを目標としています。

まさに一つの花を咲かせるべく種を蒔くことができた瞬間だったと言えるでしょう。

準備を進めていく上で、きっと皆さんなりに、さまざま苦労や不安があったと思います。歌いたくても応援したくても、どう声を出していいかわからない。準備や練習の時間がなく、東祭をどう迎えれば良いのか分からない。しかしその分、僕たちは例年以上に東祭について見つめ直し、正面から向き合うことができました。そして東祭は僕たち東中生にとって、無くてはならないもの、そうはっきりわかる事ができたはずです。東祭に懸ける想いは様々な壁を乗り越え、今、このときを迎えています。今日と明日の二日間は、東中生徒の底力を思う存分発揮していきましょう。花の開花はまもなくです！

全力で取り組み、全力で盛り上げ、全力で楽しみましょう！

一日目、『**意見発表（意見文・英文）**』日頃の学習の成果が見られました。『**君こそスターだ！**』ダンスや寸劇、ソーラン節など有志チームや学級で頑張りました。『**吹奏楽部発表**』３年生の最後のステージになりました。アンコールの「sing sing sing」まで、飽きることのない楽しい演奏をありがとうございました。『**チャレンジランキング**』学年の枠をこえて、力を合わせて、縦で東一(統一)、素晴らしい記録がたくさん生まれました。

二日目『**音楽会**』学級・学年・全校と、すべてが素敵な合唱、ハーモニーでした。

意見発表（意見文・英文）

君こそスターだ！

吹奏楽部発表

チャレンジランキング

音楽会

閉祭式～校長先生のお話

あっという間の二日間でした。

開祭式で、「143 の白い花が、今日と明日で、互いに照らし合いながら、どんな色に変化し輝くのか、楽しませてもらいたいと思います。」と話しましたが、意見発表・英語スピーチ・君スタ・吹奏楽部演奏・チャレラン・音楽会と、スポットライトを浴びている人もそれを応援する人も、一体となりながらも一人一人が異なる素敵な色の花を咲かせ、輝いてくれていたと思います。多くの制約がある中でも、つながり、支え合って、充実と感動のドラマに溢れた二日間を創り上げてきてくれました。

音楽会の講評で、長谷部先生が言葉にならないとおっしゃっていましたが、全く同感です。昨日と今日、私は皆さんの姿から何度も、胸が熱くなり、目元がうるうるしました。

一人一人の思い…魂と言っていいと思いますが、一人一人の魂が、クラスというまとまりとなり、学年というまとまりとなり、チームというまとまり、そして全校というまとまりになって、魂同士がふれあい、重なりあう…そこに感動が生まれるんだろうと思いますが、それが連続する二日間でした。本当にありがとう。

画竜点睛という言葉があります。中国の絵の名人が、壁に描いた竜に最後の仕上げとして睛(ひとみ)を入れたら、たちまち雲に乗って天に昇っていったという故事から生まれた言葉で、「物事を完成するときに、最後に付け加える肝心な部分」「物事の最も大切な部分」を表す言葉です。

この後、青木会長の挨拶、閉会セレモニー、閉会宣言と続き東祭は幕を閉じますが、それは、全員で創り上げてきた第 43 回東祭を完成させる最後の仕上げの時でもあります。かけがえのない「あなた」とかけがえのない「143 人の仲間」とのつながり・支え合いを噛みしめながら、一つの花を素敵な色に染め上げてください。

終わります。

閉祭式～生徒会長の話

東祭がもうすぐ終わりをつげようとしています。今、皆さんの心の中にはどんな東祭が残っていますか。そして今、何を感じていますか。

100 日前に東祭テーマ「3 色で一つの花となれ」を掲げ、回収活動、テーマソングやチャレランそして合唱練習、またポスターや学級旗、モザイク壁画の作成・・・、今年は練習や準備の期間がとれない日々でしたが、昨日、今日の二日間は、全校生徒一人ひとりの取り組みの成果が全て発揮された、最高の二日間でした。

新型コロナウイルスの影響で、あらゆるものを見直さなければならない中、縦割りという東中学の伝統を引き継ぎ守りながら、僕たちは新しい形の東祭を創り上げることができました。例年に比べて、できること、そして時間を短縮せざる得ない状況に、僕だけではなく皆さんも戸惑った事と思います。

しかし、一人ではできないことも、全校 143 人の力が集まると大きな力に変わります。全校で大きな壁と向き合い、乗り越え、結束をさらに強めたことは、生徒会スローガンでも掲げている「縦で東一」した姿なのではないでしょうか。

さて、この二日間を振り返ってみましょう。

意見発表会での発表される方そして聴く側の皆さんの真剣な眼差し、君スタでの楽しそうな笑顔、吹奏楽部員の生き生きとした姿、チャレランでの仲間を励まし合い応援する姿、そして東中学校の自慢である「小さな学校の大きな合唱」を改めて感じさせる音楽会での全校生徒の姿。今、僕の心の中は皆さんの輝く姿がしっかりと浮かび、とても温かい気持ちでいます。皆さんはどうでしょうか？

さあ、今この東中学校には、全校生徒皆さんで種を蒔き、大事に育て上げた３色の力強く美しい一つの花が咲いています。最高の東祭にするために、みんなで咲かせた花です。143 人で咲かせた大きな花です。その花に種ができるまで、僕たちで大事に育てていきましょう。

１，２年生の皆さん、全力で頑張って色々な事に取り組んでいたのがうれしかったです。来年も再来年も自分たちが思い描く最高の東祭を創り上げてください。

３年生のみんな、改めて学年の絆を感じています。東祭の成功のために、一緒に盛り上げてくれて本当にありがとう。そして、東祭を開催するためにご協力頂き、ご支援下さいました先生方、本当にありがとうございました。

東祭での全力の姿、東祭の成功は、これからの一人ひとりの飛躍にきっと繋げていける事でしょう。

これからも東中学生として誇りをもち、大きな意欲の翼をひろげ進んでいきましょう。

二日間を終えて～生徒の感想から

今年初めての東祭で、新型コロナウイルスの影響で、チャレンジランキングなど１m間隔を保つなど、吹奏楽でも隣とだいぶ離れていたので、演奏中やリハーサルでは音が聞こえませんでした。しかし、皆が１つのことに集中することで、心が１つになったような感じがし、とてもよい東祭になりました。今年は、大きな声を出すことはできなかったけど、拍手ですごく盛り上がることができました。（１年）

どのプログラムも他学年と力を合わせて楽しめてよかったです。特に心に残ったことは、チャレンジランキングです。綱引きは、１，２，３年生で力を合わせて協力できたことで、全勝することができました。大縄は今までで一番の最高記録を跳べたのでとても嬉しかったです。すごく盛り上がりました。３色で一つの花となれは達成できたのではないかと思いました。すごく楽しかったです。（１年）

東祭がありました。今年はコロナの影響でできなかったことや制限されたこともありました。でも、そんな中、３年生が盛り上げようと必死になってくれたおかげで、結果、とてもいい文化祭になったと思います。今度は僕たちの番なので,これから頑張っていきたいです。（２年）

心に残ったことは３つあって，１つ目が大縄です。初めて 200 回以上跳べて，しかも，去年に比べたらずいぶん成長したなと感じました。２ つ目は吹部の演奏です。コロナの影響で春コンと夏コンもなくなってしまったので，みんなで吹ける最初で最後のステージでした。とても楽しく終わることができたのでよかったです。３つ目は合唱です。本番ではみんなの声も聞こえてきたし，最高だったと思います。（２年）

新型コロナウイルスの影響で東祭ができるかどうかも分からなかったけれど、まず東祭ができるようになったことがすごく嬉しかったです。私が一番印象に残ったのは、１日目も２日目も全校で盛り上がれたということです。特に「チャレンジランキング」と「君こそスターだ」では、みんなが手拍子をしてくれたし、学年関係なく応援できていたことがすごく心に残っています。これらのことで「３色で一つの花となれ」を達成できたと思うし、特に一番達成できたと感じたのは、全校でテーマソングを歌った時でした。最後の東祭は良い思い出となった最高の東祭でした。（３年）

あっという間の 2 日間で、頭の中が今でも盛り上がっている。一つ一つのクラスが長い時間をかけて作り上げてきたものを全校の前で発表し、その発表を見て全校が盛り上がり一つになるということを感じられて、感動した。裏での頑張り、一人ひとりの努力が積み重ね合って、一つのものが創り上げられると感じた。コロナウイルスによって離れていた距離が、この東祭で一気に縮まり、分かり合うことができたと思う。この東祭で終わらせるのではなく、先輩としての姿を後輩に引き継ぎ、日常生活でそれを形に出来るようにしたいと思います。（３年）

中学生の活き活きと活動する姿が絶えなかった二日間、先生方も活力をもらいました。

この二日間のために、本気になって最後までやりきった生徒会役員の皆さん、全力で取り組み、盛り上げてくれた生徒のみなさん、ありがとうございました。保護者・地域の皆様、ご声援やご協力、ありがとうございました。